

防災情報メールを登録しておきましょう

市では、災害情報や防犯情報などを、あらかじめ登録した携帯電話やパソコンに電子メールでお知らせする防災情報メール配信サービスを行っています。
緊急時の情報を携帯電話などで受信できるこのサービスは、皆さんの命を守るためのものです。ぜひご家族がお持ちのすべての端末でご利用ください。

メールでお知らせ

- 防災情報 各種警報
- 地震情報 国民保護情報
- 津波情報 防犯情報
- 土砂災害警報情報
- 徘徊・行方不明者情報



ポイント 登録していないのに避難情報が携帯電話に入ってくるけど?

市が直接配信する防災情報配信サービスと、携帯電話会社が提供している緊急速報メールサービスがあります。違いを理解し、上手に使いましょう。

▶市の防災情報メール配信サービス

- ・メールアドレスを登録して配信されるため、香南市外に居ても香南市の情報を受信できます。
- ・電源が入っていなかったり電波が届かない場所に居ても、電波が復旧すると情報が届きます。
- ・防災情報に加え防犯情報(利用の選択可)と徘徊・行方不明者情報が配信されます。

▶携帯電話会社の緊急速報メールサービス

- ・香南市を対象に配信するため、通勤や旅行などで一時的に香南市内にいる人にも配信されます。(他の市町村に居る際にはその場所の情報が入ります)
- ・通話中やインターネット接続中の場合は受信できません。(再送信はされません)

5分でかんたん登録

▶QRコード(二次元コード)を利用する場合 → ※携帯電話のカメラ機能「バーコードリーダー」で読み取りガイダンスに従って登録してください。



▶URLを直接入力する場合 <https://kochi-konan.mail-dpt.jp>

※登録やメール着信時のパケット通信料や回線利用料は本人の負担となります

防災のススメ

「もしも」に備えを!②

防災お祭り

市内での防災に対する取り組みを紹介します ※※※※※※※※※※

子ども★防災フェス 2014 in こうなん

周りの大人だけでなく、子どもたち自身の災害に対する備えや知識の習得と防災意識の向上が、結果的には子どもたち自身の身を守ることに繋がります。
これを目的に、11月22日(土)県立青少年センターで「子ども★防災フェス2014 in こうなん」が開催されました。市内外の親子連れなど約1,000人が参加。大雨、火災の煙、土砂災害、地震など災害の疑似体験や、ランタンや簡易血作り体験などを通じ、保護者と一緒に防災について楽しく学びました。

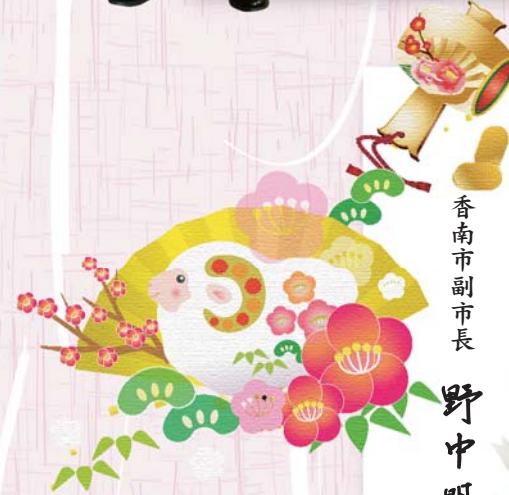


1 防火衣を着て消防放水体験 2 救命戦隊タスケルンジャー。119番通報やAEDの使い方などを教えてくれました 3 タオルで防災ずきん作り。家庭にある身近なものも防災グッズに早変わり 4 降雨体験。時間雨量180ミリの大雨を体験中



香南市長 清藤真司

新年、明けましておめでとうございます。皆さま、市民の皆さまにおかれましては、晴々しいお気持ちで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。急速に進む少子高齢化の中、地域のあり方自体も変化してきております。人口自然減の時代だからこそ「まちづくり」においてカギになるのは住民自治であり、住民自治の充実に、まちづくり自治会や協議会の役割が重要になってきます。そこで今年は、市内全域における自治会または協議会の設立に向けて、より一層取り組んでいく予定です。皆さまの更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。そして、本年が皆さまにとりまして良き年となりますよう心よりご祈念申し上げます。



香南市副市長 野中明和

新年を迎え、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。昨年は、新人市民として家族一堂、祭りなどを通じて地域の皆さんと親しく交流させていただきました。今年さらにはグレードアップして、地域活動に積極的に参加させていただくこと、また、そば打ち教室などもたくさん開催させていただく事を目標としています。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



謹賀新年

平成 27年

香南市教育長 安岡多賀男



さわやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。私は、「出会い」を大切にしてきました。今まで知らなかった人・風景・文化等々との出会い、知っているつもりでも気づかなかったこととの出会いも多くあります。とくに子どもたちにとりましては、自分の良さや可能性との出会いは、人生を左右するほど大切なことです。豊かな出会いには、感動があります。「子育て」や「まちづくり」は、感動の連続であつてこそ「実る」と捉えています。私は今年で古希。「人生七十古来まれなり」と言われる歳ですが、皆様と共に感動を共有しながら「文教のまち・人権のまち」を目指してがんばりたいと思います。今年もどうか宜しくお願いします。

多くの出会いと感動を

「私かくもて帰つても、
気づけば母が晴れにして、
さうと明日はいい天気」
(中学2年生)
「あの頃は、障害のある我が子に神うらみ、今はこの子が神と思へし」(一般)
(文部科学省編
子育て三行詩より)